

平成23年度 第2回 四街道市地域公共交通会議 会議録（概要）

日 時：平成23年12月19日（月） 14：30～16：15

場 所：四街道市役所 新館5階 第1会議室

出席者 委員：榛澤会長、芦沢副会長、池上委員、花崎委員、土屋委員、小林委員、
松澤委員、池田委員、石川委員、石井委員、武富委員

オブザーバー：千葉内陸バス(株)常務取締役 寺澤秀郎

事務局出席者：林田経営企画部参事、大野政策推進課長、萱沼副主幹、多田副主査
三好主任主事、(株)トーニチコンサルタント

傍聴者 : 1名

会議次第

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 会議録の作成について
4. 会議録署名人の指名について
5. 傍聴及び傍聴人への資料配布について
6. 議事
 - (1) 市内公共交通に係る市民等からの要望状況等について
 - (2) 公共交通空白・不便地域について
 - (3) 四街道市の公共交通のあり方（案）について
 - (4) 公共交通改善施策の方向性について
 - (5) ヨッピーの改善策（案）と運行サービス水準（案）について
 - (6) その他
7. 閉会

開会

【事務局】 定刻になりましたので、ただ今から、平成23年度第2回四街道市地域公共交通会議を開催いたします。

本日は11名のご出席をいただいております、四街道市地域公共交通会議条例第5条第2項に規定する過半数に達しておりますので、本日の会議が成立しておりますことを、ご報告いたします。

市長挨拶

オブザーバー紹介

【事務局】 本日、千葉内陸バス株式会社の山原委員が欠席されておりますが、会長に事前にご承認をいただきまして、地域公共交通会議条例第5条第4項「会長が必要と認めるとき、委員以外の者の出席を求め、意見・説明を聴くことができる」の規定により、千葉内陸バス株式会社の寺澤常務取締役にオブザーバーとして、ご出席いただいておりますので、ご紹介いたします。

—— 会議録の作成について ——

【榛澤会長】 議事に先立ちまして、会議録における発言者名については、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、原則として明記することとなっておりますので、前回同様、明記する取扱いとしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

異議なしと認めます。

なお、このあとの議事進行におきまして、会議録を作成する関係上、発言をされる際は、マイクを使用してくださるようお願いいたします。

—— 会議録署名人の指名について ——

【榛澤会長】 本日の会議の会議録署名人は、石川委員、松澤委員にお願いします。

—— 傍聴及び傍聴人への資料配布について ——

【榛澤会長】 傍聴希望の方がいるか確認をします。事務局、いかがですか。

【事務局】 はい、1名いらっしゃいます。

【榛澤会長】 会議の公開・非公開につきましては、議事運営に支障が認められる場合は非公開になりますが、本日の議事内容におきまして支障はないため、『審議会等の会議の公開に関する指針』の「3. 会議の原則公開」の規定により公開とし、入室を認めたいと思います。

また、会議資料につきまして、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、傍聴人の閲覧に供するものとし、資料を配布することとしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

異議なしと認めます。

傍聴人の入室を許可し、資料を配布することとします。

(傍聴人入室)

—— 議事概要 ——

【榛澤会長】 それでは本日の議事に入ります。

前回、第1回の会議におきまして、市民アンケートの集計結果のご報告があり、アンケートなどから見えてきました課題として、「公共交通の空白・不便地域の解消」、「公共交通サービスの充実」、「高齢者の外出機会拡大に向けた移動手段の確保」、「市民意識の改革」の4点、整理させていただきました。

本日の議事は、これら課題を受けまして、交通空白地域・交通不便地域についての考え方、四街道市の公共交通のあり方、ヨッピーの改善策などでございますが、ヨッピーについては、次年度中の見直しに向けた具体的な改善策、四街道市の公共交通のあり方については、利用者や行政の負担のあり方などの方針など、実質的な協議を行いたいと考えておりますので、

皆様のご協力をお願いいたしたいと思います。

それでは、最初に議題1ですが、公共交通の空白地域について、今後の対応方針を検討していく上で、ここ3年間の市民等からの運行にかかる要望状況も考え合わせて検討する必要がありますので、議題2の交通空白・不便地域に入ります前に、『市内公共交通に係る市民等からの要望状況等について』、事務局から説明をお願いしたいと思います。

————— 議事1：市内公共交通に係る市民等からの要望状況等について —————

【事務局】 ○資料について説明

【榛澤会長】 今の説明に対して何かご質問はありますか。

【芦澤副会長】 市民からの要望がでてきているのは、市から何か問いかけて出てきているものなのか、それとも、自発的に出てきているものなのか。

【事務局】 特に市からは問いかけてはいません。普段の業務の中で、市民あるいは地区からから挙げられている要望です。

————— 議事2：公共交通空白・不便地域について —————

【事務局】 ○資料について説明

【榛澤会長】 何か質問はありますでしょうか。

前回、高齢者の視点も考慮すべきでないかというご指摘頂いていたのを受けて、不便意識については高齢者についても検証してみたが、むしろ不便意識は少ないことから、前回通りバス停までの距離は400m、運行間隔は40分間隔という設定でよいのではないかということでしたが、公共交通空白地域・不便地域の基準はこれでよいということによろしいでしょうか。

(他の委員から意見等なし)

それでは、議事3に進ませて頂きます。

————— 議事3：四街道市の公共交通のあり方(案)について —————

【事務局】 ○資料について説明

【榛澤会長】 持続可能な公共交通体系を構築していくためには、市の負担ばかりではなく、地域住民の協力を得ることや行政から地域、企業も含めて支援していかなくてはいけないのではないかということです。ヨッピー導入時と違うところは、基準を満たさない場合、廃止も含めて見直すというところです。要望に沿って運行させた場合でも、実際に走らせてみると乗らないという状況が多くあります。他市でも行っていることですし、地域の方々の意識喚起のためにも良いのではないかと思います。

基本的な考え方としてはよろしいでしょうか。

(他の委員から意見等なし)

それでは、次に進ませて頂きます。

————— 議事4：公共交通改善施策の方向性について —————

【事務局】 ○資料について説明

【榛澤会長】 公共交通の改善策の方向性についてありましたが、インフラ整備が伴わな

いとできない、次に進まないということも考慮しているというところでは。

時間軸と公共交通空白地域・不便地域別のマトリックスに分かれており、星印が多いところから進めていくということです。

【芦沢副会長】 基本的な方向性はこれでよいと思うが、P45 の不便意識が市平均である 3.4 ポイントとあるが、これはどういう数値なのか。

【事務局】 メッシュごとの不便意識を 5 段階で表示したものであるが、説明については記載漏れであるため、説明を記載しておくようにします。

【土屋委員】 P46 の (1) に 3 つの施策が上げられているが、P45 には道路が狭隘な地区など地域特性上、既存の公共交通で対応ができない地区においては、新たな公共交通を導入するなどについて検討することとする。とされているので、4 点目として、道路が狭隘な地区については、新たな公共交通の導入を検討するというのを加えてみてはどうでしょうか。

【事務局】 ご指摘のとおりであるので、狭隘地区の対応として、追加修正させていただきます。

【榛澤会長】 他にありますでしょうか。

無いようですので、次に進めさせていただきます。

—— 議事 5 : ヨッピーの改善策 (案) と運行サービス水準 (案) について ——

【事務局】 ○運行ルート、メリット・デメリットまでの説明

【榛澤会長】 公共交通改善施策の方向性については皆様にご了承を頂きました。今説明しているのはヨッピーの運行形態と運賃についてです。P56 の条件に基づいて検討したのが、3 ルートあり、そのうち、回転広場整備の必要がなく、最も実現性が高いのが 1 案ということでした。この案をベースにさらに詳細を検討しておくことで良いかと思ひ、皆さんに提案させていただきますが、いかがでしょうか。2,3 案だとインフラ整備が伴うので、アンケート結果や市民の要望を考えて、第 1 案を進めたいと思ひますがよろしいでしょうか。

【池上委員】 ちょっと前に戻りますが、北口ロータリーへの乗入れについてですが、当初の導入経緯は分かりませんが、なぜ北口に乗り入れできないのでしょうか。

【事務局】 一番大きな理由としましては、ヨッピーの運賃が 100 円、民間路線バスの運賃が 160 円ということで、運賃差があるなかで、ヨッピーが四街道駅に乗入ると競合が生じてしまい、民間路線バスの利用者が運賃が安いヨッピーにとられてしまうということも考えられるため、乗り入れをしなかったということです。

【榛澤会長】 他にご意見はございませんか。それでは、第 1 案をベースに進めさせていただきます。よろしいでしょうか。

では、収支試算についての説明を事務局よりお願いします。

【事務局】 ○収支試算について説明

【榛澤会長】 試算上の運賃は 160 円均一ということですが、運賃変動については、今後検討とさせていただきます。よろしいでしょうか。

【土屋委員】 収支試算結果の 1 日利用者数が 212 人となっているのに対して、P61 の※1 では平日 1 日利用者数が 206 人となっていますが、206 人と 212 人の違いにつ

いて、教えてください。

【事務局】 6人の違いは※2に記載していますが、新たに公共交通空白地域である大作岡地域に延伸した場合に利用が増える分と見込んでいます。

【武富委員】 平成23年6月に実施した乗降調査結果では平日平均277人/日であるのに、今回の試算で206人というのは利用者が減るということですか。

【事務局】 平日277人というのは、調査日が、たまたま利用者数が多かったという可能性が考えられるため、年間平均で見たほうがよいと考え、平成22年の実績値を活用している。また、277人の中には、無料利用者が含まれているので、平成22年の有料利用者人数の想定人数を使って収支試算を行っているところであり、利用者数自体は現状と変わらないものとして試算しています。

【小林委員】 車両の減価償却はどう考えているのか。この試算には含まれていますか。

【事務局】 今回の試算では、車両購入に伴う減価償却は含まれていません。現在のヨッピーは11年目に入っており、あと数年で新たな車両購入が必要になることとなります。

【榛澤会長】 今回の件だが、P55で記載されている前提条件の費用負担において、車両購入費などの初期投資は市で負担することになっているので、利用者の方の運賃で賄うのは運行経費のみということで理解して頂き、減価償却は含まれないということです。

【事務局】 収支試算のなかでは含まれないということです。車両購入はイニシャルコストということで、市が負担をするという考え方です。収支試算はランニングコストということで試算を行っています。

【小林委員】 現在10年を迎えたということで、今まで時間をかけて検討を行ってきたということで、新たな方向性が見えてくるのかと思っていたのですが、ルートを変更して運賃を上げるということで継続ということですが、10年間運行してきたなかで、一部民間に移譲という考えはないのでしょうか。

【事務局】 ヨッピーについては、市が補助を出して運行しているが、将来的に利用者がさらに多くなり、民間事業者より新規路線の話があれば、可能性はあると思いますが、現時点でそのような話は聞いていませんので、短期的には実現は難しいと思います。

【池田委員】 民間が撤退している地域かつ空白地域をカバーしているということで、市が運行しているということだと思います。いろいろルート案が示されていますが、これらの路線の収支が合ってくれば、切り売りではありませんが、採算が合う部分だけを民間事業者が再び運行を行うということは考えられなくはないと思います。ただ、減価償却の部分も含めて民間事業者が運行して採算が合うということはかなり難しいと思います。県内各市の状況をみても廃止代替路線に民間事業者が復活したという事例はほとんど聞いていません。

【榛澤会長】 他に何かありますでしょうか

【芦沢副会長】 P53で公共交通サービスに対するニーズとして運行本数を増やしてほしいという要望が多くなっており、さらに改善された場合、利用が増えるというアンケート結果になっていますが、その一方で運行経費を増やさないために、運行間隔が現在の20便を維持ということになっています。運転手は1日拘束

ということですが、現在の運行実態として、これ以上運行頻度を増やすことはできないのでしょうか。また、時間帯を1時間増やすということですが、これによって運行間隔が開くことになり、経費を増やさずに本数を増やすことはできないのでしょうか。

【事務局】 非常に難しい質問ですが、ルートが短ければ増やすことはできると思いますが、運転手の休憩時間などを考慮しなくては行けませんので、これについては今後、バス事業者と協議し、なるべく増やせるように検討していきたいと思えます。

【芦沢副会長】 燃費はそんなに変わらないと思いますが、経費に大きな影響を与えるのは人件費なので、運転手の運用を考えて、経費を抑えつつ運行できるかについて検討してほしい。

【石井委員】 北口に乗入れるということで、ルートを短くしたからといって、駅構内で混むことがあり、かなり時間を要し、駅をでるのに5分ぐらいかかることもある。距離を短くしたからといって極端に本数を増やすということは難しいと思えます。

【芦沢副会長】 極端ではなくても、少しでも増やすことができることが、重要ということです。

P49で利用者数のグラフがあるが、最初は少なく、年々伸びているが、増加要因が何か。今後のバスの運行のヒントになるのではないか。人口が増えていることや高齢者が増えて自動車利用が減っているか、PR的なことで最初は知られていなかったことが知られるようになったなどによるのか分析してほしい。

【榛澤会長】 他にございますか。

無いようですので、次に進めてさせていただきます。

————— 議事6：その他 —————

【事務局】 開催日程などについて説明

【榛澤会長】 他にございますか。なければ、以上で終了とさせていただきます。

以上